

令和8年所信

昨年を振り返りますと、市民総参加で盛大にお祝いしてまいりました「別府市制100周年」のフィナーレの年であり、同時に、市制101周年という新たな一歩を踏み出す節目の年でもありました。

4月には「大阪・関西万博」が開幕いたしました。

「未来社会の実験場」と位置づけられる万博を実際に体験してもらうため、費用の一部を補助し、期間中、約900人の別府の子どもたちが万博を訪れました。この経験を通じ、子どもたちが未来に希望を持ち、それぞれの夢に向かって力強く歩み出してくれることを、心から願っております。

万博の開催を背景にインバウンド需要が一層高まる一方で、人材不足も相まって、タクシーやバスの利用についての課題が顕在化しました。

この課題に対応するため、4月には新たな交通サービス「湯けむりライドシェア GLOBAL」を開始し、多くの観光客や市民の皆さまにご利用いただきました。

今後も、持続可能な地域公共交通の実現に向け、さらなる研究と改善を重ねてまいります。

これら以外にも、これまで蒔いてきた数多くの種が、少しずつ実を結び始めた一年でもありました。

Park-PFI 事業として整備を進めてまいりました上人ヶ浜公園北エリアは、「SHONIN PARK」としてオープンいたしました。

2倍の広さとなった砂湯をはじめ、レストランやショップ、宿泊コテージを備えた、高付加価値の拠点へと生まれ変わっております。

また11月には、長年にわたり地域の課題であった楠銀天街のアーケード撤去および道路整備に、地域の皆さまとともに取り組み、「BEPPU 楠銀通り」として新たなスタートを切ることができました。

さて、別府市の新たな一年が、いよいよ本格的に始まります。

本年は、待望の新図書館を中心とした「こもれびパーク」が開館いたします。
新図書館の蔵書数は、従来の約2倍となる20万冊に拡充し、あわせてデジタル図書の提供も開始いたします。

「こもれびパーク」は、本の存在を身近に感じながら、市民が集い、交流し、多様な出合いを育む場です。

木漏れ日が降り注ぐ開放的な空間で、語らいを楽しみ、本を片手にこだわりのコーヒーを味わう、そんな日常を創出してまいります。

物価高騰への対策につきましても、スピード感と規模感をもって取り組んでまいります。

第7弾となるプレミアムエール券「春らんまん・べっぶしあわせエール券」を、春先からご利用いただけるよう販売いたします。

今回は、プレミアム率・販売冊数ともに過去最高となり、プレミアム率は50%、販売冊数は紙20万冊、電子20万冊、合計40万冊を予定しております。

先着順ではなく、希望されるすべての市民の皆さまが購入できる制度設計としておりますので、ぜひご活用ください。

別府の次の100年を牽引するキーワードは、「新湯治・ウェルネス」です。
温泉の効果・効能が見える化し、自然体験や文化体験と掛け合わせることで、市民や観光客の健康と幸せを実現してまいります。

今後は基本計画に基づき、扇山の拠点施設整備に向けた次のプロセスへと進んでまいります。

また、ハード面の整備と並行し、この新たな産業を支える人材育成についても、大学等と連携し、計画的かつ戦略的に推進してまいります。

昨年、「新湯治・ウェルネス」の商標登録が完了いたしました。

これは、この構想が単なるスローガンではなく、別府を象徴する確固たるブランドとして歩み始めたことを意味します。

別府市はこのブランドを、市民の皆さまとともに大切に育て、国内はもとより、世界へと広く発信してまいります。

人口減少や社会保障費の増大という課題に直面する中、常に新たな財源の確保に取り組むことも不可欠です。

新湯治・ウェルネスの産業化そのものが新たな財源対策となるほか、競輪事業の投票ポータルサイト開発、Park-PFI に代表される民間事業者との協業、さらには宿泊税の導入などについても、関係機関と丁寧に協議を重ね、最善の策を検討してまいります。

さらに、まだ発表できないビッグイベントなども計画中です。

「やりすぎくらいがちょうどいい」は、本年も健在です。発表できる段階になれば、皆様に随時発表してまいります。令和8年も賑やかで明るい別府となりそうです。

本年、令和8年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」です。

丙も午も、ともに火の性質を持ち、情熱と前進の力を象徴するといわれています。まさに、私たちの新たな挑戦に希望の灯をともしてくれる年となることでしょう。

社会経済環境が極めて予測困難な時代において、現状維持は後退を意味します。立ち止まることなく、果敢に前進し続けることが、今、求められています。

この佳き年に、別府市がさらなる発展を遂げることができるよう、私も皆さまとともに全力を尽くす決意です。

別府市長 長野 恭紘